

くまむら

議会だより

2011.10.25

65号



きびきびとした入場行進（一勝地小学校大運動会）

球磨村世帯数 1,636世帯
人口 4,460人・男 2,113人・女 2,347人
(H23年9月30日現在)

発行……球磨村議会

編集……球磨村議会広報特別委員会

熊本県球磨郡球磨村大字渡丙1730番地

Tel (0966) 32-1111

目次

9月定例議会…………… 2～3

一般質問 …………… 4～9

旬の話題 …………… 10

9月定例議会

平成22年度球磨村一般会計及び特別会計決算が認定されました



平成23年第7回(9月)定例会は、9月9日から16日までの8日間の会期で開かれました。提案された議案は、平成22年度財政健全化判断比率及び資金不足比率についての報告、平成22年度球磨村一般会計及び特別会計決算の認定6件、条例の一部改正1件、平成23年度球磨村一般会計及び特別会計補正予算2件、監査委員の選任同意1件の11件で審議されました。一般質問には6名の議員が登壇、行政課題・施策などを村執行部にただしました。

初日の9日には、柳詰議長の開会宣言後、6月定例会以降の諸般の報告、多武議員による例月現金出納検査結果報告、また、人吉球磨広域行政組合議会の報告を大童議員が行いました。

議案は、財政健全化法により、地方公共団体の財政状況

を判断するため、財政健全化判断比率の算定公表が義務付けられた平成22年度財政健全化判断比率及び資金不足比率についての報告が柳詰村長からありました。

平成22年度球磨村一般会計及び特別会計決算認定の上程後、豊永征介代表監査委員より、同歳入歳出決算審査結果等の報告が行われました。続いて、球磨村税条例等の一部を改正する条例の制定、平成23年度球磨村一般会計及び特別会計補正予算が上程されました。

12日には4名、13日には2名の議員が一般質問に登壇、

自宅審議後の15日には、議会初日に上程された平成22年度球磨村一般会計及び特別会計決算が審議のうえ、いずれも認定されました。最終日には、税条例等の一部改正、平成23年度球磨村一般会計及び特別会計補正予算を審議後可決、追加議案に球磨村監査委員の選任同意、また、郵政改革法案の早期成立を求める陳情書については、総務常任委員会に付託し、継続審査とすることになりました。

一般会計 平成22年度決算

歳入				単位：千円
村税	234,271	県支出金	458,015	
地方譲与税	40,860	財産収入	51,800	
地方消費税交付金 他	50,890	寄付金	729	
地方交付税	1,872,013	繰入金	2,382	
分担金及び負担金	21,495	繰越金	156,104	
使用料及び手数料	9,778	諸収入	27,369	
国庫支出金	1,057,305	村債	528,340	
合計		4,511,351		

注) 地方消費税交付金他：地方消費税交付金33,920千円に利子割交付金739千円、配当割交付金199千円、株式等譲渡所得割交付金85千円、自動車取得税交付金7,087千円、地方特例交付金8,238千円、交通安全対策特例交付金622千円を含んだ金額です。

歳出				単位：千円
議会費	57,093	土木費	184,206	
総務費	1,896,928	消防費	153,538	
民生費	768,330	教育費	364,736	
衛生費	203,154	災害復旧費	7,678	
農林水産業費	359,786	公債費	417,858	
商工費	11,124	予備費	0	
合計		4,424,431		

繰越明許費繰越額 7,632 翌年度繰越額 79,288

特別会計

国民健康保険特別会計		
歳入 627,154千円	歳出 567,009千円	繰越 60,145千円
老人保健医療特別会計		
歳入 14,375千円	歳出 14,375千円	繰越 0千円
後期高齢者医療特別会計		
歳入 53,102千円	歳出 53,021千円	繰越 81千円
介護保険特別会計		
歳入 582,377千円	歳出 566,335千円	繰越 16,042千円
簡易水道特別会計		
歳入 98,587千円	歳出 86,826千円	繰越 11,761千円

報告

○報告第3号
 ・平成22年度財政健全化判断比率及び資金不足比率について

財政健全化法に基づき、球磨村監査委員の意見をつけて報告。

決算認定

○認定第1号
 ・平成22年度球磨村一般会計決算の認定

○認定第2号
 ・平成22年度球磨村国民健康保険特別会計決算の認定

○認定第3号
 ・平成22年度球磨村老人保健医療特別会計決算の認定

○認定第4号
 ・平成22年度球磨村後期高齢者医療特別会計決算の認定

○認定第5号
 ・平成22年度球磨村介護保険特別会計決算の認定

○認定第6号

・平成22年度球磨村簡易水道特別会計決算の認定
 いずれも審議の結果、原案のとおり認定されました。

条例

○議案第29号
 ・球磨村条例等の一部を改正する条例の制定

寄付金に係る税額控除の改正及び脱税犯の懲役刑等地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、球磨村条例等の一部を改正するものです。

○議案第30号

・平成23年度球磨村一般会計補正予算(第4回)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ、67,418千円を追加し、歳入歳出予算の総額を3,044,703千円としました。
 歳出では、東日本震災被災地支援の職員派遣等旅費、宅地購入費、子

○議案第31号

・平成23年度球磨村介護保険特別会計補正予算(第2回)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ、5,885千円を追加し、歳入歳出予算の総額を661,356千円とするものです。

人事案件

○同意第2号

・球磨村監査委員の選任同意
 豊永征介氏が再任されました。

その他

○陳情書

郵政改革法案の早期成立を求める陳情書は、総務常任委員会に付託されました。

○平成22年度普通会計財政健全化審査意見

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、監査委員の意見をつけて報告するものです。

◇審査の結果

いずれも早期健全化基準を下回っており、良好と認められる。

○平成22年度簡易水道事業会計経営健全化意見

1、資金不足比率
 ◇審査の結果
 経営健全化基準と比較して、良好な状態にあると認められる。

※用語解説

1、実質赤字比率
 一般会計等の実質赤字額の標準財政規模に対する比率

2、連結実質赤字比率
 全会計を対象とした実質赤字額(または資金不足額)の標準財政規模に対する比率

3、実質公債費比率
 一般会計等が負担する地方債元利償還金などの標準財政規模に対する比率

4、将来負担比率
 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

5、資金不足比率
 公営企業会計ごとに資金不足がどの程度生じているかを表す比率

6、標準財政規模
 地方公共団体が通常水準の行政サービスを提供する上で必要な一般財源の目安となる数値。地方税や地方交付税など自由に使えるお金の大きさをあらわしています。



九月定例 一般質問

村道黄檗線の整備は なぜできないのか

長 優先順位をつけて計画
を立てるのが原則

田代 利一 議員

- 一、県道・村道の維持管理の状況について
- 二、特産処理加工施設の状況について
- 三、遊休農地対策について

田代議員

＝暮らしの環境を安全で快適なものにしていくには、道路の整備が必要です。道路は、そこで暮らす人々の生活の基盤であり、地域における産業振興に欠くことのできない社会資本であると、村長も施政方針で述べられています。そこで、村内における県道や村道の整備状況を伺います。

村長

＝県道や村道については、地域産業を支える、あるいは住民の生活

道路として公益性が高いということから、通行中における事故が発生しないように維持管理には、注意をしています。村管理の村道や林道については、道路の点検、崩落した土砂の除去や草払いなどの維持管理を実施しているところではあります。

田代議員

＝村道の中にも、まだ、危険な箇所がたくさんあるようです。特に、黄檗線の場合、大きく路肩が落ちており危険な状況です。点検はされていますか。

建設課長

＝点検はしています。黄檗線の中津から黄檗までの間については、予算の範囲内で計画的な工事を進めていきたいと考えています。

田代議員

＝計画的にと言われますが、これまでも一般質問等で何回も要望しておりますが、実施されておられません。

村長

＝村道もたくさんある中で、黄檗線だけを考えるわけにはいきませんので、優先順位をつけながら計画を立てていきます。

田代議員

＝黄檗線は、優先順位をつければ一番だと思えます。とにかく路肩が落ちて道幅は3mぐらいあります。その内2mぐらいしか通行できない

状態です。場所がわかりますか。

建設課長

＝言われたところは、中津地区から先の方だと思います。ただ、そこは全体的に湧水が多いところで、その処理を的確にしないと、経費をかけても工事の効果が少ないと思います。いずれにしても、危険ですので、工事の計画を早く立てたいと思います。

田代議員

＝その他にも、中津地区内にある横断溝が破損しています。緊急に補修しないと事故が起こってからでは遅いと思いますが。

建設課長

＝再調査して、必要があればすぐにでも補修したいと思えます。

田代議員

＝次に、歩道が未整備な通学路の安全対策について伺います。

村長

＝子供達の通学路の安全確保は、行政の大きな課題です。危険箇所の解消、あるいは児童、生徒の通学の安全対策については、これからも万全を期してまいります。

田代議員

＝県道の除草作業について、今年には災害もありましたので、作業が始まるのが遅かったです。

建設課長

＝県道の除草作業については、7月23日に始まって、8月6日には作業が終わっています。

田代議員

＝先日、馬場地区入口の国道の上部が崩れて通行止になりました。しある県道が迂回路になりました。しかし、道路際の雑草が繁っており、車の離合も困難のようでした。ぜひ、県の方に梅雨入りまでには、除草作業を行うようお願いして下さい。

この他、同議員は、特産処理加工施設の収支の状況や遊休農地対策についても質した。

(質問時間60分)



早急な整備が必要な村道黄檗線

小水力発電ができないか

長 国の政策などを見極めながら取り組みたい

愛甲 泰治 議員

一、小水力発電事業の取り組みについて

愛甲議員

私が小学生の時、水車による発電所があったのを覚えています。それは、松舟、田代地区へ電気を供給する施設であったと思います。その後、中渡にも小規模ではありましたが、発電所がありました。多くの燃料を使用する火力発電とちがって、水力発電は地球温暖化防止にも役立つエネルギーの一つではないかと思えます。球磨村には、幸いにして小規模河川がたくさんあります。この水を利用して、村づくりの一環として水力発電ができるかと思えました。執行部の考えを伺います。

村長

小水力発電事業への取り組みについては、「球磨村地域エネルギービジョン」を平成17年2月に策定しています。その中で、村内にどれだけの

小水力発電の適地があるのか調査をしたことがあります。坂口の三段滝や川島の布ヶ滝、さらに一勝地や球泉洞など6地点について現地調査を行い、発電可能量の調査を行いました。その結果、一勝地がいちばん評価が高いとの結論です。その後、芋川に水力発電所を整備し、その電気を「かわせみ」に供給する計画をしたことがあります。しかし、政権交替等で先が不透明になり計画を控えたところです。今後、国の新しいエネルギー政策がでてくる可能性もありますので、そういうものを見極めながら取り組んでみたいと思っています。

愛甲議員

以前あった中渡発電所の廃止に至るまでの経緯を知っていますか。

村長

中渡発電所はJAの経営でした。ただ、人を雇用していた関係で経営が厳しくなったことと、九州電力がすべての地域に電力を供給できる体制が整ったことで廃止に至ったというふうなことを聞いています。

愛甲議員

他にも、見に行ったことはありませんが、水上村に小水力発電を行っているところがあると聞いています。

村長

水上村湯山に、小水力発電実験装置が昨年12月に総工費260万円をかけて完成しています。鉄工所による試作品で、出力は一般家庭消費電力の1割程度の規模です。

愛甲議員

小水力発電をやるうとすれば簡単にできそうな気がしますが、実際やるとなれば大変むずかしい問題がでてくると思います。球磨村の場合、地形的にも落差の大きい河川がありますので、今後、

研究されて観光と一体化していくことが大事だと思います。農業にしても林業にしても、なかなかお金になりません。

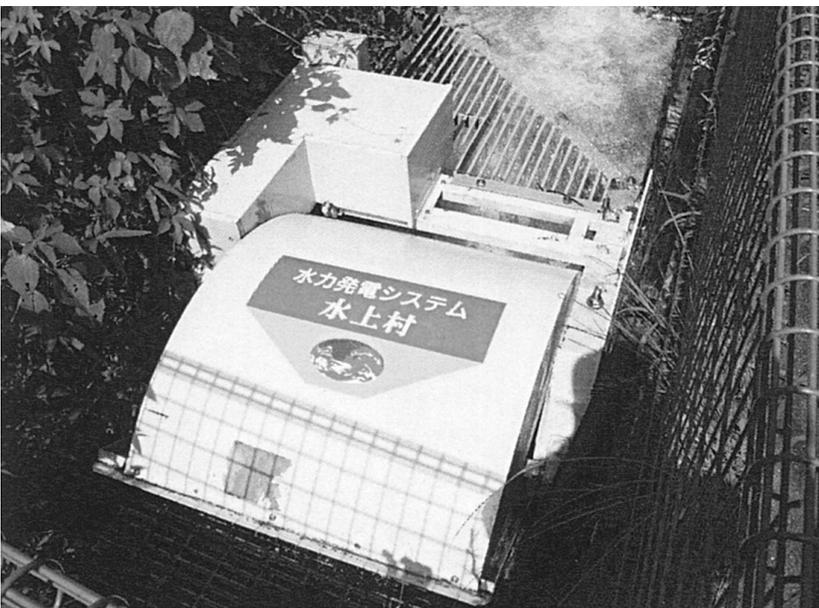
だから、せめて残った川だけでもお金にならないかとの考えから質問をしているわけです。研究を重ね、実現できる方策をとっていただきたいと思えます。

村長

村にも、たくさんの方の公共施設があります。施設の維

持管理をする中で、財政負担がふえてくるだろうと思います。それを緩和する方策があるとすれば、エネルギーをどう変えていくかということも考えていかなければいけないと思います。そのようなことで、小水力発電なり太陽光発電なり、村としても検討しながら取り組んでいきたいと思っています。

(質問時間30分)



水路を利用した小水力発電（水上村）

今後の教育環境整備について村長の考えは

長 環境整備は行政が責任 村 を持って行います

高澤 康成 議員

一、教育環境の充実について

高澤議員 学校再編を機に学校施設の整備、改修が進み子供達も安心して学ぶ事ができ一定の評価しております。より改革していくうえで今後教育環境整備について村長の考えを伺います。

村長 村長就任以来、児童を含め人材の育成に取り組んできたつもりです。今後、教育の中身について児童生徒がいかに快適に勉強できる環境を整備するか教育委員会と一体なって取り組んでまいります。

高澤議員 通学路の整備についての考えをお聞かせ下さい。

村長 子供達がいかに安全に登下校するかというの大きな行政の課題です。道の改良も含め安全対策も当然考えていかななくてはならないと

思います。

高澤議員 危険箇所の報告と状況について伺います。

教育長 月一回開いておりますスクールバス会議、校長会にて報告を受けております。その後、総務企画課交通安全係、建設課へ連絡するよう努めております。

建設課長 22年度維持工事といったしまして安全に通行できるようにと計画しました路線は19路線です。

高澤議員 災害時における先生達の対応や指導について伺います。

教育長 7月6日に道路が冠水しスクールバスが運行できない状況が発生しました。当日は、全校生徒を体育館に集め保護者と連絡を取り合い確認後帰宅させるように致しました。その後帰宅したかどうかの確認を再度させたところ。一番安全な面を考え実行したところで。

高澤議員 徒歩通学の対応について苦情等聞いておりますが、学校側の認識の甘さがあるのではないかと思います。教育長の徹底指導ができていないのではありませんか。

教育長 安全が第一です。先生が確実に子供達を守っていたかどうか

指導します。再度、学校とも一緒に考え直していきたいと思えます。

高澤議員 他町村では子供王国ボランティア組織が発足し活動をしておられるようですが本村の23年度第40次の実施計画の中にはまだ地域全体で子供達を守るといった施策が打ち出されていないようです。今後の考えを伺います。

教育長 平成23年度におきまして、組織的なもので学校応援団というものを計画しております。取組内容として、災害時における対応の応援、交通安全指導、学校授業の応援、総合学習お手伝い、部活動指導応援等まとめまして学校応援団制度づくりに取り組んでいるところで平成24年度からスタートさせたいと思えます。

高澤議員 保護者においては、学校に預けているんだという依存的考えが一部であるようです。この取組で親・行政・学校がきちつとした連携のもとで実行させる事が一

番と思えます。最後に村長の考えを伺います。

村長 教育全体の環境、施設整備で子供達が快適に勉強できるように環境整備が行政が責任を持って頑張らなければいけないと思っております。互いに意見交換しながら、またコミュニケーションを図りながらやっていきたいと思えます。

(質問時間60分)



渡地区の浸水被害への対応は

長 移動排水ポンプ車を含め村 対応します

嶽本 孝司議員

- 一、豪雨による渡地区の内水排水について
- 二、役場下の駐車場建設工事の進捗状況について
- 三、一王寺団地の外灯、集会場の設置について

嶽本議員

6月と7月の豪雨により、渡地区は床上浸水が8棟、水田は、今村、地下、島田、山口、鶴口地区が冠水しました。茶屋地区は、

国交省により人吉に配備している排水ポンプ車の設置で冠水及び浸水被害はありませんでした。6月19日には、地下の樋門に、試験的に、八代に配備の排水ポンプ車で排水したため、冠水や浸水を防ぐことができました。今後、移動排水ポンプ車で対応していただけるか伺います。

村長

移動排水ポンプ車は、ある程度の効果があり、すぐ対応できる

ような体制を県に要望していきま
す。引き続き常設設備5トンの排水
施設も要望していきます。

嶽本議員

鶴口地区の橋が冠水
し、民家が孤立しました。冠水が夜
中まで続きますと、周りが暗く、冠
水した道路と水田の見極めがつかず
危険です。橋に照明を付けていただ
けるか伺います。

村長

外灯については、村の補助
金制度を利用して下さい。また、冠
水しない高い橋の架け替えを国交省
に要望していきます。

嶽本議員

次に、役場下の駐車
場の建設の進捗状況について伺い
ます。

村長

工期内に完了したいと考え
ています。また、工事内容は、西回
り自動車道の廃土を盛土に利用する
計画です。

嶽本議員

駐車場の基盤は大丈夫
ですか。また、ボーリング調査はさ
れましたか伺います。

建設課長

盛り土工事が主体工事
となり基礎基盤の地質試験や載荷試
験、盛土になる材料の試験を工事中
に行いました。

嶽本議員

ボーリング調査をしな

ければ、基礎の設計や工事費の算出
ができないのではありませんか。
建設課長 高さ8mの構造物や橋
梁の橋については、ボーリングが必
要になります。面的な工事であ
り、建設工事の一定の指針によつて
ボーリング調査はしませんでした。

嶽本議員

次に、一王寺団地の外
灯の必要性については、昨年9月に
一般質問させていただきました時
は、サンクスの店内の明りで十分と
の答弁でしたが、明るいのは、国道
に面した一戸建の住宅数軒で
した。また、地元に住んでお
られる方の意向を聞き判断さ
せていただきますとの答弁で
したが、意向調査はされまし
たか。

総務企画課長

全体の意向
調査はしておりません。た
だ、班長さんに話を聞きまし
たら、団地内では必要ないと
のことでした。

嶽本議員

団地内に九電の
電柱が4本あります。そこに
外灯(防犯灯)を希望されて
おられますので、再度、検討
をお願いします。また、一王

寺団地は、25棟以下の中規模団地に
該当しますので、集会所や、談話室
が必要とされていますが。

村長

団地内に、集会所用地とし
て、公園化している所を確保してお
りますが、山口区の集会所を拡張し
たところでもあります。

嶽本議員

一王寺団地には、若い
夫婦や村外からの入居者も多いこと
から、地域のコミュニティーがうま
く行く様をお願いします。

(質問時間50分)



冠水を緩和する排水ポンプ車 (渡駅付近)

通学路に歩道ゾーンを設定することはできませんか

長村道での設置は可能村です

舟戸 治生議員

- 一、交通体系の整備、促進について
- 二、文化財の保護について
- 三、商工業の活性化について

舟戸議員

「本村の道路は急カーブや道幅が狭く改良すべき箇所が多く、更に、急傾斜で地盤がもろいため、風水害等でしばしば交通止めを余儀なくされています。このような道路を利用して、福祉バス、スクールバスが運行されており、安全性について、危険箇所、カーブミラーの調査確認、対応、また、大雪、大雨時の運行判断について伺います。」

村長

「県道については、球磨地域振興局土木部が巡視パトロール、道路の整備などを管理しています。村道については130kmという長い区間で危険箇所も多くありますが、できるだけ全面通行止めがないように道路の改修に努

めてきました。福祉バスなどの条件が悪いときの運行判断は、最終的な責任は私にあり、住民福祉課長の意見を聞き判断しています。」

教育長

「スクールバスの運行判断については、運転手が夜明け前に道路の点検をおこない、球磨中学校の校長先生と教育委員会との協議のうえ判断をしています。」

舟戸議員

「次に歩行者、子供の交通安全について、自動車を中心とした交通環境の発展に伴い、交通事故の危険度は高まる状況のなかに、交通安全の啓発活動により意識は高まっていますが、基盤となる交通体系の整備が遅れています。児童を交通事故から守るために、通学路に歩道ゾーンを設定することはできないか伺います。」

教育長

「幅員の狭い道路もありますので危険性は重々認識しています。スクールゾーンの設定については、登下校の安全確保を第一に考え、警察署、交通安全協会に相談します。」

舟戸議員

「車道を片方に寄せれば十分に歩道スペースをとることができますし、人吉市でも、中原小学校

下の旧国道など数箇所では通学ゾーンが設定されています。財政面、立地条件の問題もありますが検討をお願いします。」

村長

「村道に歩道を設置するのは可能であり、現場調査を行い検討します。国道、県道では厳しい面もありますが、対策については積極的に取り組みていきます。」

舟戸議員

「次に、商工業の活性化について、建設業関係者の厳しい状況を打開するため、リフォーム補助金などの制度創設については、財政面の問題も含め積極的に検討することとした。そこで、郡市町村の住宅リフォーム助成の実施状況について伺います。」

産業振興課長

「リフォームに關しての補助金は、管内で4ヶ所程の事例があり、新改築に際し建築祝金などの助成をされています。」

村長

「熊本地産地消の家づくり推進事業として、住宅の新築、リフォームをす

る建築について、県産材を提供する県事業があります。村の補助制度設計については、村内で仕事をする方々にメリットがあるか十分、確認、協議をして、小規模事業者の発展につながるかを検討します。また、同議員は、文化財の保護についても質した。

(質問時間50分)



歩道ゾーンの設定が望まれる(峯地区)

かわせみの赤字経営からの脱却の方策は

長 社員全員が経営状況を 村 知り危機感を持つこと

多武 義治 議員

- 一、「かわせみ」の赤字経営について
- 二、田舎の体験交流館「さんがうら」の利用状況
- 三、教育行政について

多武 議員

「かわせみ」の平成22年度（単年度）決算は、529万円の赤字です。原因について一口で言えば、社会情勢の変化による来客数の減少が上げられますが、一方では、お客様に対するおもてなしや、経営の中心となる取締役会が機能しているのかなど「かわせみ」側にもあると思います。そこで、経営のトップの立場でもある村長の赤字経営に対する認識や、赤字経営からの脱却の方策についての考えを伺います。

村長

「かわせみ」の監査役から言われると思いませんでした。取締役会としては、それぞれに会議を開き対応していますが、大変、厳しい経営状況であることは否定できません。これまで、指摘されてるように、館内全体でお客様に笑顔で対応することや、社員全員に経営状況を知らせる危機感を持つことを、現在、指示しています。また、組織を総務、サービス、販売の3つに分け、部門別に担当の取締役を置き、経営のチェックをしていきたいと思えます。さらに、場合によっては賃金の見直しも考えています。

多武 議員

私も「かわせみ」の監査役で、「かわせみ」の一員でありますが、本日は議員としての立場で質問をしています。ここに、村長の他に取締役の方が4名おられます。赤字経営に対する認識や考えなど意見がありましたらお願いします。

副村長

赤字経営が続いていることに責任を感じています。この状況を脱却するために、協議検討を重ねています。

教育長

赤字についての、一つ一つの事項を、真剣に議論をして解決していくことが重要と思えます。

総務企画課長

「かわせみ」の株式発行可能は1000株で、その内、村が400株取得しています。議論が必要だと思えますが、残り発行可能な600株の一部を、民間の人に買ってもらって、経営に参加をしていただくことも考えられますが。

産業振興課長

「かわせみ」の設立した当時、そのような考え方もありません。しかし、経営が順調な時はいいのですが、悪化した時、はたして民間の人がどうしていただくか不安がありました。そのようなことで、前村長時代に100%村が出資の「かわせみ」を設立したものだと思えます。ただ、危機的状況であることは明らかですので、いろいろな面で検討したいと思えます。

多武 議員

「かわせみ」の決算は

3月です。その後、株主総会が7月であり、議会への報告が8月でした。本来ならば、早く総会を開き赤字の原因を究明して、次の年の目標である事業計画等を早く作る必要があると思えますが。

村長

「かわせみ」の決算の報告を早くすることは、当然考えます。また、これまでの反省を踏まえて、しっかりと次の年度の事業計画書も作成するようにします。

この他、同議員は、田舎の体験交流館「さんがうら」の利用状況と教育行政についても質した。

(質問時間50分)



厳しい経営が続く「かわせみ」

旬の話題

一勝地小学校大運動会

一勝地小学校 校長 中村 和弘



一勝地小学校第2回目の運動会が、10月2日(日)に素晴らしい天候のもとに開催されました。子どもたちは、運動場をしっかりと踏みしめ、手を大きく振り、どの学年も立派な入場行進を見せてくれました。

今年の運動会は「がんばろう日本 希望のゴールを 手に入れろ」というスローガンでした。日本中が東日本震災の復興に向けて立ち上がっているところであり、このスローガンに込められた、子どもたちの温かい心が十分伝わってきました。



徒走は歯をくいしばって、応援は団長を中心にきびきびと、ダンスは堂々と勇壮に、全ての種目において全力での取組を見せてくれました。保護者の皆さんも我が子との種目に笑顔で楽しみ、珍プレー好プレーの連続でした。運動場を取り巻く地区のテントも笑顔と笑いでいっぱいでした。また、昼食前には、先生方と保護者が仲よく仮装をして、ピンクレディーの「ペッパー警部」の披露もありました。

私が日ごろから大切にしている「和」の精神が子どもの和、保護者の和、地域の和となって浸透していることを実感した運動会でした。

編集後記

今年の郡民体育祭ソフトボール大会での男女アベック優勝は、本村にとって10年ぶりの快挙でした。

本村では過疎化が進む中、各種スポーツ大会にあつては、選手参加が困難なところもあり、その中で優勝は、このうえない喜びであります。

村民憲章にも掲げる生涯スポーツ振興の観点から、今後球磨村の健康づくりスマイルスポーツクラブの積極的参加、継続的活動に拍車がかかれば素晴らしいことと思います。(高澤)



- 広報委員長 多武 義治
- 広報副委員長 高澤 康成
- 広報委員 毎床 文博
- 広報委員 嶽本 孝司